

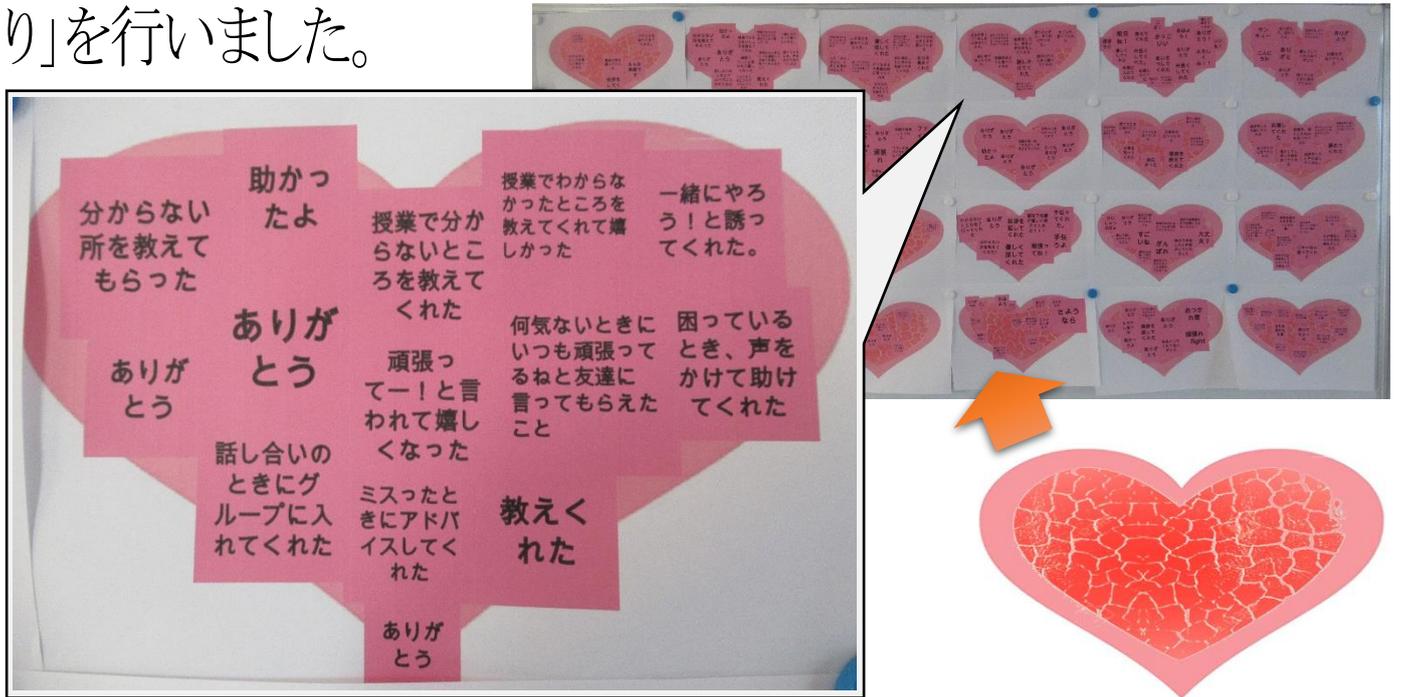
# 伸・魅力通信

## 袋井中で広がる思いやりのピンクの輪

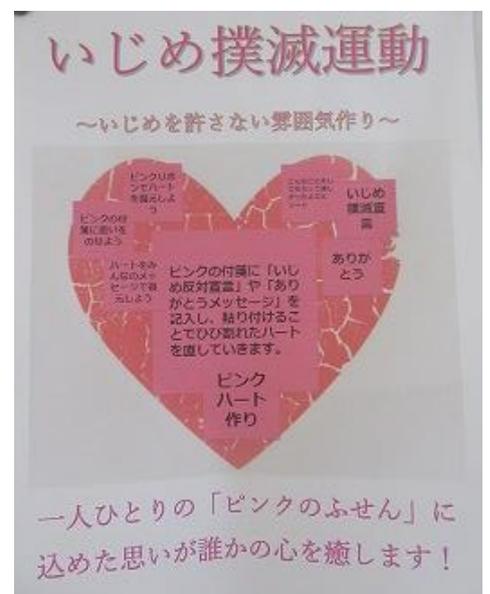
袋井中学校では、2月21日から1週間、「いじめ撲滅のため、いじめにつながる言動と、みんなの幸せにつながる言動について考える」ピンクシャツウィークを実施しました。人権作文の放送を行ったり、生徒会役員・専門委員長・学年運営委員がピンクシャツを着てのあいさつ運動をしたりしました。



タブレット内の jamboard を使って、「いじめ撲滅宣言」や「ありがとう」などのみんな思いを集めてハートを作る「ピンクハート作り」を行いました。



ピンクシャツウィークを担当した名倉大馳さんは「あいさつを返してくれてうれしかった。もっとあいさつの輪を広げていきたい。そうすれば、いじめはなくなると思う。積極的にピンクハート作りに取り組んでくれる人が多かったり『自分も「いじり」をしないように気を付けたい』とってくれる人がいたってうれしかった。今回のピンクシャツウィークが、自分たちの言動を考え直す機会になって良かった」と語ってくれました。



<b>心づくり</b> 「静をつくる」「温をつくる」という活動を通して、規範意識や思いやりの心を育てる。	<b>静</b> わがまませず、周りの友達と生活できる(個) わがまませず、周りの友達と生活できる(公) よく考えて行動し、ルールに従って生活できる よく考えて行動し、ルールに従い責任を持って生活できる	TPO(時・所・場合)を考慮、相手の立場を尊重してマナーを守る	<b>自己有用感</b>
	<b>温</b> 自分や周りのものを大切にできる 周りの人に親切にすることができる 周りの人に進んで親切にすることができる 相手の立場や気持ちを考え、親切にすることができる 周りの人に感謝の気持ちをもち、他の人に対し、親切にすることができる		
	家庭的な温を大切に 基本的自尊感情「たった一人の存在」(受容・共感) 親が幸せで笑顔でいる家庭 / 変らねのある楽しい家庭 / 会話を増やし、絆を深める家庭	社会的自尊感情「人や社会に役立つさがある」(承認・賞賛) 学園の出口を目指し、自分の将来について話ができる家庭	